

## 山陰道「仁摩温泉津道路」

### 現状と課題

#### 交通難所の問題解決

国道9号の大田市仁摩町～大田市温泉津町間は、防災対策が必要な箇所が多数あり、交通事故の多発・交通の隘路箇所（平面線形が劣悪・トンネルが狭小）など多くの問題を抱えています。このような問題を解決するため、大田市仁摩町大國から大田市温泉津町今浦に至る延長約11.8kmのバイパスとして平成16年度に事業化し、平成17年度から橋梁下部工事に着手しています。



### 事業概要

#### 路線図



#### 今年度の事業

用地買収を促進し、橋梁下部・上部、トンネル、道路改良等の工事を推進します。

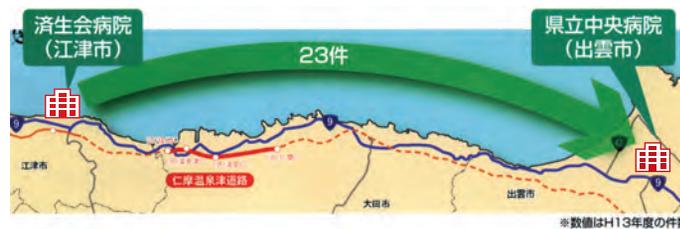
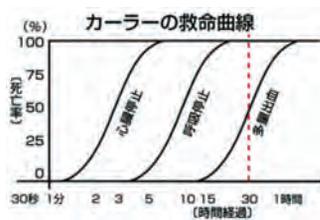


天河内第1トンネル工事状況

#### 期待される整備効果1

#### 円滑で迅速な緊急活動を支援

「仁摩温泉津道路」を含む周辺の道路網が整備されることで、高度医療施設の整った県立中央病院へ西部地域から搬送しやすくなることから、搬送時間の大幅な短縮が図られることから、救急時に迅速な医療活動が可能となります。



#### 期待される整備効果2

#### 災害・事故時の代替機能の確保

対面交通の片側1車線がほとんどであり、この地域の一般国道9号は、事故・災害の発生時に全面通行止めを余儀なくされることも少なくありません。その際に有効な代替道路のないのが現状です。仁摩温泉津道路は緊急時の代替道路としても機能します。

